

第 20 回山梨県介護老人保健施設大会抄録用紙

演 題	季節感を取り入れた入浴
副 題	気持ち良く風呂へ へえるじゃん

フリガナ	カイゴロウジンホケンシセツ サンビューフジカワ
施 設 名	介護老人保健施設 サンビューふじかわ
フリガナ	カイゴフクシシ ハナモリ サトシ
発表者(職名・氏名)	介護福祉士 花森 諭
フリガナ	セイカツシエンサービスコウジョウイインカイ
共同研究者	生活支援サービス向上委員会

〔目的〕

当施設では柚子や菖蒲を風呂に入れて、利用者様に季節感のある入浴を、過去に何度か行っていた。それが職員・利用者ともに好評価であった為、生活の活性化を図り、認知症予防に繋がると、生活支援サービス向上委員会で話し合われた。その結果、同委員会の主導で、2016年より季節感を取り入れた入浴を、利用者様に提供していった。

〔方法〕

毎月開催される委員会で、翌月の風呂の内容・その実施に必要な材料の調達方法、入浴日を検討する。

入浴材料の内容は、雑誌やインターネットで情報収集を行い、下記の条件を満たす事で決定した。

- 該当する月の季節感に合っている。
- 職員が容易に収集可能な物。
- 過去、既に実施しており、評価の良かった物。
- 濃度や肌への影響など、入浴材料の安全を考慮する。

入浴日は、通所・入所の利用者様が入浴する機会を多く持てる様に、毎月2日間、実施する事とした。

実施日の10日ほど前より、写真や効能を説明したポスターを、各フロアに掲示して告知を行った。

平日に出勤している職員と利用者様を中心に、入浴材料の加工(乾燥させる等)を、実施日に合わせて行った。その際、害虫の混入・傷んでいないか等、材料の状態に注意した。

当日、材料を縦30cm×横20cm程度の袋に入れて、湯張り開始と同時に、浴槽内に固定した。

〔結果〕

下記の期間・内容で各月2日間、季節の入浴を実施できた。

2016年8月	ミント風呂
9月	どくだみ風呂
10月	生姜風呂
11月	お茶風呂
12月	柚子風呂
2017年1月	お茶風呂
2月	米ぬか風呂
5月	よもぎ風呂
6月	ラベンダー風呂
7月	ひのき風呂
8月	どくだみ風呂

材料は、主に職員からの提供。家族からも頂けた。材料ごとに、湯量との濃度の関係を調べた。殆どの利用者様が入浴・掛け湯で風呂を楽しむ事が出来た。入浴後、皮膚の弱い方に対して影響が無いか、経過観察を行った。利用者様に皮膚トラブルは見られなかった。

〔まとめ〕

委員会の活動総括・年度替わりの委員選出期間中である2017年3～4月を除いて、季節風呂を定期的に実施する事は出来ている。

利用者様は身体状態に応じた形で、材料を加工する作業・ポスター鑑賞・入浴・香りを楽しまれていた。それに伴い、回想法的な話題(子供の頃〇〇入浴をした等)を展開する事が出来た。

入浴の効果は、利用者様やスタッフの感想(香りを楽しめた・温まった等)で確認している。

季節風呂の更なる継続的な実施・評価方法(職員や利用者様の満足アンケート等)の検討が今後の課題である。